

牧師所感： 尹錫悦大統領の決断

—自由民主主義を守る—

去る2024年12月3日(火)、我が祖国大韓民国大統領 尹錫悦閣下は、国家非常事態宣言「戒厳令」を発令した。この消息を日本で知った筆者は、一時唖然として、気を失う位驚いた。なぜならば、南北の民族の戦争が勃発したかと思うぐらい気が動転したのである。その理由は最近北朝鮮の金正恩総書記は、同じ民族である韓国を敵国と見なして世界に宣言したからである。

ところがしばらく時が経ち(6時間)、戒厳令が解除されたとの報道に接した。途端に胸を撫で下ろした。

さて筆者は政治家でもなく、祖国韓国に居る訳でもなく、日本国である外国に住んでいるので詳しい消息は知る由もない。しばらく時が経って、真相を知ることとなつた。理由は報道によれば、「尹氏は3日夜、国会で野党が政府官僚らの弾劾訴追を進めて行政府を麻痺させ、予算も政争に利用しているなどと批判。『自由憲政秩序を守るため』として憲法に基づいて非常戒厳を宣布した。」(朝日新聞)

さて戒厳令は解除になったが、政情不安を知ることになった。ところで何回も何回も、何日も、全能の神様に祈り、尹大統領閣下の統治の安泰を訴えた。

さて以上のような事態を受けて、祖国の平和のために真剣に祈らざるを得ない。日本の総理大臣選挙の時も、クリスチャンである石破茂氏の当選の為に必死になって祈つた。結果は是であった。然るに、尹大統領の統治の継続の祈りは当然である。

主なる神よ、韓国の政府をお守り下さい。アーメン！！